

労働者健康福祉機構燕労災病院
〒959-1228新潟県燕市佐渡633
TEL:0256(64)5111
FAX:0256(63)9819
ホームページ <http://www.tsrh.jp>
Eメール tsubame@tsrh.jp

(燕労災病院院外広報誌)
発行日 2010年07月号
発行者 宮下 薫

燕労災病院の医療理念

働く人々と地域の人々のために最善の医療を目指します。

病院の基本方針

安全で質の高い医療の提供を目指します。

勤労者の健康管理を支援します。

医療に関する教育・研修を支援します。

健康を守り福祉を大切にします。

目次:

*内科医師交代について *単身赴任をもう一度	1
*単身赴任をもう一度 *ストーマ外来の開設について	2
*市民・医学講話を開催しました *敷地内禁煙について	3
*外来診療科別担当医師表	4

燕ろうさいつうしん

【お知らせ】 内科医師交代について

平成22年6月30日付け退職の櫛谷幸嗣医師の後任として丸山佳重(まるやま よしえ)医師(平成1年卒)が平成22年7月1日付けで赴任いたしました。また、平成22年6月30日付けで矢田雄介医師が退職いたしました。

今後とも各臨床科の医師確保につとめ、診療内容の充実をはかってまいりますので、よろしくお願いいたします。

【単身赴任をもう一度】

燕労災病院 リハビリテーション科 技師長 内田 泰

私はこのたび4月1日付けで、浜松労災病院より転勤して参りました。労災病院に就職して30数余年、全国を転勤してきたつもりでいましたが、本州の中でも東京より北へは行ったことがありませんでした。そのため、豪雪地の冬はまだ経験したことがありません。



燕労災病院に赴任するために、3月の下旬、上信越自動車道を軽自動車ですら新潟県を目指して運転中、あたりは暗くなり雪は激しく降り道路には積雪が増えて、妙高高原インターで仕方なく高速道路を降りることとなりました。しかし、一般道の積雪は高速道路より多く、照明も無く真っ暗な雪の中、ノーマル・タイヤでは恐怖心が増すばかりでした。悪戦苦闘し、なんとかホテルを見つけ宿泊しましたが、「大丈夫ですよ明日の午前中には雪は溶けますよ!」とホテルの従業員の弁。夜食にホテル近くの居酒屋に入り、降る雪を恨めしげに眺めていると「雪見酒とは洒落てますね!」とご主人の言葉。なんとかなるのかと思いつつ不安な気持ちで就寝。

翌朝は愛車が 状態になっていました。

結局、雪のない所までレッカー移動。まるで映画の撮影時の様に、車ごとトラックの荷台に載せられ……………。



燕には単身赴任で参りましたが、以前にも通算で8年間の単身赴任経験があります。家族と離れて一人暮らし、時間は腐る程ありました。思いつきで「ミシン」を購入し裁縫をしたり、音痴なくせに「アルトサックス」を購入して音楽教室に通ってみたり、またまた調理道具をそろえて「手打ちうどん」「タイ料理」「手作りラーメン」等々・・・しかし、まともなものは何もありません。暇にまかせて、なんにでも手を出すのが趣味なのかもしれません。当時は、もし自宅通勤が可能になったら「庭に家庭菜園を作ろう」とか「女房の家事手伝いを、もっともっとしよう」などど思っていたのですが、実際に4年間自宅から通勤できる期間を与えられても、結局なにもせず時間だけが過ぎたような気がします。現在は、たまに自宅に帰った時には時間を惜しむように、未だ見ぬ初孫のベビー・ベッド造りに励んでいます。

この様な私ですが、院内の業務だけでなく地域に飛び出して、燕市および周辺住民の皆様の、お役に立てればと思いがんばる所存です。よろしく願いいたします。

【お知らせ】 ストーマ外来の開設について

ストーマ外来のご案内

ストーマの周りの皮膚がヒリヒリして痛い・・・
定期的の装具を交換しても、漏れてしまう・・・
装具交換の方法はこれで大丈夫かな？
何か新しい情報はないだろうか？ など

みなさんの困っていること・知りたいこと等にお答えします！

対象者	消化管ストーマ（大腸ストーマ、小腸ストーマ）を造設した方
内容	皮膚・排泄ケア認定看護師による個別相談を行います ・初回再来時、手術後1ヶ月・3ヶ月後、以降6ヶ月毎の定期的な観察 ・装具交換などストーマケアに関する様々なご相談 ・新しい装具の情報提供 など...
実施日時	第2・第4金曜日 14:00～16:00（1人につき30分、予約制） 都合により、お待ちいただく場合があります。ご了承ください。

受診当日、持参いただくもの

- ・予約表、診察券
- ・普段ご使用の装具1セット（忘れずにお持ちください）
- ・その他、装具交換のため使用されている物がありましたら、お持ち下さい

ストーマ外来受診についてのお問い合わせ

燕労災病院 0256-64-5111 （外科外来へお尋ねください）

予約以外でもお困りのことがございましたら、外科外来看護師にお声かけ下さい

医療関係者の方へ

当院では医療関係者の方々に対するストーマケアの相談なども行います。ご希望の方は、下記E Mailにてお問い合わせください

E-Mail : wocn.2009@tsrh.jp

皮膚・排泄ケア認定看護師 西川真未、三須恵美子

【お知らせ】 市民・勤労者医学講話を開催しました

7月6日(火)午後6時30分から燕労災病院外来ホールで眼科副部長 竹内裕貴医師による医学講話「緑内障について」を開催しました。講演内容を一部ご紹介します。

緑内障の初期症状は、視野が一部狭まり、さらに進行すると全く見えない部分がでてくることです。敏感な人はこの部分に気づくこともありますが、ほとんど視力に影響しないので自覚症状がないまま進行してしまいます。緑内障はそのまま放置すると失明する恐れがある怖い病気です。早期発見、早期治療が重要で、特に40歳以上の方は3～4年ごとに視野検査、眼底検査を定期的に受けることが大切であると説明がありました。



当院では、「地域医療を担う」、そして「勤労者医療を推進する」という観点から、地域の皆さんへ医療に関する講演を行っています。

聴講されているみなさんから講師に対して熱心なご質問をいただくなど、毎回ご好評をいただいております。ぜひ一度お越し下さい。

【お知らせ】 敷地内全面禁煙について

当院ではこれまで病院内禁煙を実施していましたが、患者の皆さま、ご来院の方の健康を守ることを使命とする立場から、病院全体を健康で快適な環境にするため、平成22年7月1日から「敷地内全面禁煙」とさせていただきます。これに伴い、病院建物外の喫煙場所（「駐輪場横」）も廃止とし、灰皿等も撤去いたしました。

どうしても禁煙できないという方のために禁煙外来も行っておりますので、医事課窓口でご相談下さい。

何卒、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



【編集部より】

「サッカーワールドカップ日本代表」、盛り上がりましたね。大会前の予想を覆し、一次リーグを突破しました。初のベスト8を懸けたパラグアイ戦も延長、PK戦と朝方まで応援された方も多いと思います。

さて、7月も中旬を過ぎ、夏本番を迎えます。蒸し暑い日々が続きますが体調管理は大丈夫ですか？ビールのおいしい季節になります。飲みすぎに注意しましょう。

(齋藤)

